

☆ 生育状況は、現状平年並みの状況です。

今後、秋姫の収穫期を迎えますが、地色の抜け具合・食味を確認し、収穫をすすめて下さい。

☆ 本年も、秋姫などの品種で「黒斑病」や「かいよう病」の発生が園地によって発生している状況です。

収穫後のボルドー散布を実施し、菌密度の抑制に努めて下さい。

ボルドー散布前に徒長枝を整理し、薬剤がかりやすい状態での散布を実施して下さい。

## 1. プラム、プルーン **収穫終了後** の散布

- 隣接園（特に、今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意する。
- 散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないようにする。

散布時期	・9月中旬～（収穫終了後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り		【定期散布】散布日 ____月 ____日(____) 散布量 _____ℓ
	アビオンE（展着剤） 50ml		
	ICボルドー412 3.3kg		
散布量	400ℓ / 10a		
注意事項	①「汚れ注意」周辺の作物へ飛散しないようにする ②黒斑病、かいよう病多発園は、ボルドー散布を14日以内の間隔で、2～3回実施する。		

●スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査について（8/27時点） 調査：北信農業農村支援センター

年	一本木		倭	
2025年	R7	R6	R7	R6
7月2日	44	28	82	48
7月9日	37	34	130	57
7月16日	17	15	68	27
7月23日	15	8	29	20
7月30日	36	28	86	46
8月6日	40	17	120	36
8月13日	30	7	82	22
8月20日	19	14	29	38
8月27日	8	17	25	20

## 3. 収穫後の施肥・・・天然ボカシ肥 4～5袋又は発酵鶏糞 4～5袋（10a当たり）

問合せ先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）